

# 第173回 福岡日伊協会 映画鑑賞会のご案内

福岡日伊協会では、第173回映画鑑賞会を下記にて開催いたしますのでご案内いたします。

記

- 日 時：2016年7月11日（月）19:00～21:00
  - 会 場：あじびホール（福岡アジア美術館8F） TEL092-263-1100  
（福岡市博多区下川端町3-1 リバレイセンタービル）
  - 入場料：無 料 先着120名（直接会場へお越しください）
  - 問合せ：福岡日伊協会 担当 井口  
TEL 092-476-2153（西日本シティ銀行内）
- ※20時以降 美術館は閉館につき入館できませんのでご注意下さい。  
※館内での飲食は厳禁ですのでご注意下さい。

<作品紹介>

## 『滑稽な男の悲劇』 (1981年 110分)

監督・脚本	／	ベルナルド・ベルトルッチ	撮 影	／	カルロ・ディ・パルマ
美 術	／	ジャンニ・ラルヴェストリ	出 演	／	ウーゴ・トニャッツィー
音 楽	／	エンニオ・モリコーネ			アヌク・エーメ
製 作	／	ジョバンニ・ベルトルッチ			ラウラ・モランテ
					リッカルド・トニャッツィー

「殺し」「革命前夜」「ルナ」「暗殺のオペラ」「暗殺の森」や「ラスト・タンゴ・イン・パリ」などの世界的ヒットを出したベルナルド・ベルトルッチ監督が、ブラジルでミュージカルの演出をやるという試みに挫折し、アメリカで自分の意に添わない題材を持ちかけられ、結局彼にとっての思い出とインスピレーションの地、イタリア パロマのパダーナ地方に戻って創り上げた実話です。主役の人物像に惚れ込んだベルトルッチ監督は、「二つの世代の人間が向き合った時に感じるある種の眩暈。私は様式と構造の面でダーティな映画を作らなかった」と語っています。元バルチザンのプリモ・スパッジャーリは無一文から酪農品の工場主になった男で、ブルジョワ出身のフランス人妻バルバラと一人息子ジョバンニがいる。彼の誕生日、息子が誘拐され十億リラの身代金要求が届くが、経営悪化の工場にとっては致命的であった。父プリモは、そして母バルバラはどうするのか…、そして息子は。

お楽しみ下さい。 (解説 湯越 勘一)